

# 日本一安全なまちを目指して



▲ プラカードを掲げる参加者たち

▲ 横断幕を掲げて行進する参加者たち

地域一体となって犯罪を防ごうと「安全・安心のまちづくりパレード」が11月23日、さくら小学校地区周辺で開催され、約1000人の参加者が、犯罪のないまちづくりを呼びかけました。

同パレードは、市民の安全意識を高め、犯罪のないまちづくりを進めようと、八幡市自治連合会が主催。市内を6地区に分けて平成16年度から毎年行われており、今回で節目となる10回目を迎えました。

## 安全・安心のまちづくりパレード

出発前の記念式典で、同連合会会長の上原嘉昭さんは「このパレードも10年間、頑張ってきました。犯罪のない、環境の良いまちづくりを日常から進め、八幡を日本で一番のまちにしていきたい」とあいさつ。

また、「安全・安心のまちづくり」に貢献された4人が表彰されました。

パレードは、パトカーや京都府警察平安騎馬隊が先導。黄色の防犯ベストなどを着用した参加者たちは「安全・安心の街」振込めサギに注意などと書かれたプラカードを掲げ、地区内を啓発して回りました。



## 八幡市老人クラブ連合会

### 善意の詰まった「愛の貯金箱」

「1日1円」を合言葉に八幡市老人クラブ連合会の会員の善意が詰まった「愛の貯金箱」の開封作業が11月12日、老人憩いの家「八寿園」で行われました。

昭和56年に始まった愛の貯金箱も今年で33回目。今年の2月に会員宅約3900世帯に貯金箱を配布し、買い物の釣り銭などをコツコツ貯めてきました。

約70人が、5つのテーブルに分かれて一斉に貯金箱を開封。テーブルの上は、見る見るうちに善意の寄付金で埋め尽くされました。

会員たちは指先を真っ黒にしながらも、手際よく硬貨を1円玉とそれ以外に分け、袋に詰め込んでいました。

市内7カ所の郵便局で集計された合計金額は114万9千137円。全額が市に寄付され、福祉に役立てられます。



硬貨などの仕分けをする女性会員たち

## まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



火鉢の説明を聞く子どもたち

## ふるさと学習館を見学 南山小3年生

南山小学校の3年生67人が11月8日、社会見学でふるさと学習館を訪れました。

この見学会は、古い八幡の風景や昔の人がどのようなものを使って生活していたのかを学んでもらえればと、地域のボランティアの人の協力も得て、同館が毎年市内の小学生を受け入れています。

クラスごとに分かれた子どもたちは、木津川水泳場やロータリーができる前の八幡市駅前の写真を見なが

らボランティアの人の説明を聞いたり、農具の民俗展示などを見学。

また、昔のものに触れてみる体験では、火鉢や壁掛け電話、わら草履など、今ではほとんど目にしなくなったものに触れながら、ボランティアの人に使い方などを熱心に質問していました。

実際に素足でわら草履を履いてみた子どもたちは「チクチクする。気持ちいい」と楽しみながら昔の文化に触れていました。



サツマイモを掘る子どもたち

## おっきなサツマイモ採れた!



11月5日、美濃山小学校と有都小学校の1年生が合同で、美濃山馬ヶ背の畑でサツマイモ掘りを行いました。

6月に美濃山小学校の1年生がサツマイモの苗を植えた畑。地域の人々の協力も得ながら、子どもたちも水やりや草抜きなどを行い、無事に収穫の日を迎えました。

また今回は、将来同じ男山東中学校に通う有都小学校の1年生との交流も兼ねての両校合同でのサツマイモ掘りとなりました。

### 美濃山小・有都小が交流

うねに沿って並んだ子どもたちは、まず、つるの周りの土をスコップで掘り起こしていきます。そしてつるをグッと引っ張ると、土の中からサツマイモがいくつも連なって出てきました。丸々と太ったサツマイモが採れると、子どもたちは「こんなに大きいのが採れた」と大興奮でした。

今回収穫したサツマイモは、美濃山小学校では大学イモ、有都小学校では茶巾絞りにして、おいしくいただきました。